

- 10・27 **女性進出、日本 75 位**(ダボス会議主催「世界経済フォーラム」発表)ー政界進出における性差別指数ー1 位アイスランド、2 位フィンランド、3 位ノルウェー、4 位スウェーデン、5 位ニュージーランド、…12 位ドイツ、31 位アメリカ、60 位中国、75 位日本の順 (10・28H)

18 歳成人答申と飯塚事件再審請求と

- 10・28 「18 歳成人」答申ー法制審議会、民法上の成年年齢を 18 歳に引き下げるのが適当とする答申を千葉法相に答申(10・29A)
→10・29A 『18 歳成人』動き出すか、首相『選挙権だけでも早期に』ー政権内、根強い慎重論ー消費者保護・更生が課題ー法令 300 以上に影響、親の同意無く車購入→可能／飲酒喫煙→個別に検討
→10・28 時効等諮問ー千葉法相、債権法の前面改正と凶悪・重大事件の公訴時効見直しを法制審議会に諮問(10・29A)
→11・2 T(社)「時効見直しー慎重論にも耳傾けて」
- 10・28 **飯塚事件再審請求**ー92・2 飯塚市で小 1 女児 2 人を殺害した「飯塚事件」で殺人、死体遺棄などで死刑確定、執行された久間三千年元死刑囚(執行時 70 歳)につき、その妻 (62) が福岡地裁へ申立ー「元死刑囚と真犯人の DNA 型、血液型は一致しない」として／米国で精度の高い方法の再鑑定で 08 年までに死刑囚を含む計 237 人が再審無罪判決を受けている (10・29A)
→10・29A 「司法修習生の選考要項ー国籍条項を削除、最高裁」
→11・8 T 「司法修習生の国籍条項撤廃ー差別の壁なお高くー在日コリアン弁護士が扉、空文化から 30 年」
⇒11・6(判明) 葛飾ビラ配布事件ー最高裁、11・30 判決を再指定 (11・7H)
→11・7 Y A 「法科大学院、社会人苦戦ー新司法試験合格率 2 割切るー『法学部出身』枠増やす動き」
→11・8 T 「裁判員法廷、出席 9 割超すー『うれしい誤算』の 3 ヶ月、候補者『知識ないけど頑張る』ー辞退容認、事前審査で「ふるい？」

- 10・28 A「郵政副社長も大蔵OB一新経営陣、きょう決定」
「揺れる政治主導—官僚に答弁資料の作成指示、一転撤回」／M「元官僚 2 氏ら副社長—日本郵政、取締役 17 人体制に」
- ⇒10・28 日本郵政臨時株主総会—元大蔵事務次官・斉藤次郎氏ら新役員を選出—代表権もつ社長、副社長計 5 名のうち官僚OBが 3 人、「官(主導の色合い濃い体制)」(10・28M夕)
- 10・28 Y 夕「郵政斉藤体制が発足—取締役 18 人承認、抜本見直し着手」
- 10・29 A(社)「斉藤郵政始動—説明なき逆流を憂える」
- ／M(社)「郵政新体制—民営化見直し誰のため」
- 10・30 M(社)「郵政新体制、肥大化へ逆戻りせぬか」／N(社)「逆向きに走り出す日本郵政」

民主献金スキャンダル—小沢幹事長と鳩山首相

- 10・28 M「首相偽装献金問題—鳩山マネー・移転常態—原資の解明不可欠—量的制限違反隠ぺいか」
「首相献金問題、会計帳簿も不正—寄付者名、大半記載なし」／Y 小口献金でも無断で名前、首相資金管理団体—パーティ収入も過大記載」
- 11・2 A「首相の団体—会計帳簿も総額だけ、小口献金帳尻あわせ」／M「鳩山首相 7200 万円申告漏れ—08 年株売却修正へ」
「今年も 8 銘柄取得—事務所『資産運用、問題ない』」
- 11・5 A「小沢氏団体虚偽記載の疑い—「パーティー収入、企業購入額のずれ—上限超過分を小口化」／A(社)「鳩山献金疑惑—首相は法趣旨踏まえよ」
- 11・5 T「逃げる首相、虚偽記載問題—『捜査中』盾に説明せず←『真相明かす必要』連立与党内からも疑問視—『謝るのが筋』献金名義利用された人」
- 11・6 T(社)「鳩山献金疑惑—政府不信の芽早く摘め」

→11・8H(主)「**民主党献金問題**—疑惑の追及にこたえるべきだ」／H「10億円の94%が匿名—小沢民主幹事長、疑惑のパー券—購入先記載わずか6096万件、9年間」

10・28 **アフガン**—首都カブール中心部の国連宿泊施設で銃撃戦—国連スタッフ 3人含む7人死亡(10・28A夕)

⇒10・28 **アフガン南部**で相次ぐ爆弾攻撃—米兵 8人、アフガニスタン人住民 1人死亡—09・10月の米兵死者 55人に、月別死者数でアフガン戦争以来最悪(10・28M夕)

→10・28M夕—米外交官『辞表』に波及—『アフガン戦争理解と自信を失った』、復興指揮を経験—元外交官マシュー・ホーさん(36)、09・9辞職

⇒10・28 **パキスタン**—北西部ペシャワール市場で車爆弾—市民 91人死亡、200以上負傷(10・29Y)

⇒11・1 **アフガン大統領決選投票**—アブドラ前外相不参加を表明(11・2Y)

⇒11・2 **アフガン、カルザイ大統領再選**(アフガン選挙管理委員会発表)(11・3A)

アフガン・イラク泥沼と米陸軍軍医の乱射事件

⇒**米基地**で乱射、12人死亡(テキサス州中部フォートフッド米陸軍基地内(イラク、アフガン派兵拠点)で銃乱射事件、兵士ら12人死亡—メンタルヘルスに従事中的精神科軍医ニダル・マリク・ハサン容疑者(39)の単独犯行とみられる—派兵前兵士の卒業式に約600人参加(11・6A夕)

→11・6A夕「**米基地乱射、派兵拠点の惨劇**—イラク・アフガン、容疑者も派遣予定—派遣迫り苦悩?兵のケア通じ厳しさを実感」／N夕「米軍基地乱射12人死亡—テキサス、精神科医の少佐—『イラク従軍不満』「米兵、精神面の負担増、戦争長期化—陸軍の自殺、過去最悪」

→11・7A「**米基地乱射事件、出口見えず病む現場**—アフガン・イラク泥沼、兵士の疲弊、深刻—増派の決断にも影響」「戦場の過酷さに『同情疲れ』—

従軍経験ある精神科医は」

→11・7M者「米基地内乱射一『戦争疲れ』が気になる」

⇒11・7 オバマ大統領、訪日を 11・13 に変更一11・5 米陸軍乱射事件追悼式典出席のため(11・7A夕)

10・29 Y夕「米朝が高官協議へ一米特別代表訪朝で合意、『6カ国』年内にも」

→11・1A「北朝鮮『6者枠内』容認一米代表訪朝、姜氏対応も応諾一復帰は確約せず」

→11・2A「拉致機関金総書記が指揮一事件当時、日本政府が確認一式開き命令伝達」

→11・7A夕「米代表、年内にも訪朝一核協議、時期巡り最終調整」

10・28 対キューバ経済封鎖解除決議一国連総会、史上最多の 187 国賛成一1992 年以来 18 年連続(反対は米国、イスラエル、パラオの 3 カ国、ミクロネシアとマーシャル諸島が棄権) (10・30H)

⇒10・29 核軍縮決議、170 カ国賛成一国連総会第 1 委員会(軍縮・安全保障)、過去最多 170 カ国賛成、16 年連続一共同提案国は過去最多の 87 カ国(米国も)、棄権は仏、中国、イスラエル、パキスタン、イランなど 8 カ国、北朝鮮とインド 2 カ国が反対) (10・30A夕)

⇒11・3 米民主、2 知事選で敗北一米東部ニュージャージー州と南部バージニア州(オバマ氏勝利した 2 州)で知事選投開票一民主候補、連敗(11・5A)

⇒11・6 米失業率 10%超一米労働省発表の 10 月失業率、前月対比 0.4%増に一83・4 以来 26 年半ぶりの高水準(11・7A)

普天間移設問題巡って一沖縄県民の怒り

10・28 Y「普天間移設埋まらぬ溝一防衛相『辺野古』容認、外相は『嘉手納』模索」
「普天間移設、きしむ同盟一軽い閣僚発言、重い米の圧力」
「米紙目立つ鳩山政権批判一普天間巡り『同盟損なう恐れある』『閣内に意見の不一致』」

⇒10・28 **ライス在日米軍司令官**(記者インタビュー)、岡田外相の嘉手納米空軍基地への統合案につき「運用基準を満たさない」と受入れ拒否を示唆(10・29A) ⇒10・29 米国防総省モレル報道官、嘉手納案は「運用面で実現不可能だ」(10・30Y夕)

→10・29M「**普天間移設問題**—混迷、いらだつ沖縄—官邸訪問、知事『早く決着』」

⇒10・29 **沖縄県仲井真弘知事、岡田外相と会談**—普天間移設「早期解決に取り組んでもらいたい」と要請(10・29M夕)

→10・30A「嘉手納案の2つの壁、普天間移設問題—騒音地元は拒否貫く、『基地運用縛る』米反対」

→11・1Y「**普天間移設**—名護市受け入れ撤回も、鳩山政権に不信感」 「米、対日政策異例の協議—大統領訪日目前、『普天間』メドなく焦り—外務省困惑ピーク」

→11・2M「**普天間問題『閣内不一致』**—米国迫隋脱皮へ首相達観」 「普天間混迷首相も一因、公約踏み出す『県外移設』—議論の収束見えず」

→11・3M(沖縄県民世論調査) 10・31～11・1 琉球新報との合の世論調査—電話調査 1015人回答

①**普天間移設をキャンプ・シュワブ沿岸部へ移設する現行計画**—反対 67%、賛成 20%

②**鳩山首相はどうすべきか**—県外か国外への移設を目指して米国へ交渉すべきだ 70%、沖合い移動を実現させるべきだ 13%、県内で別の移設先を探すべきだ 7%、現在の計画を認めるべきだ 5%

③**嘉手納統合案**—反対 72%、賛成 15%

④**沖縄県の民意を探る最善の方法**—県民投票 57%、県知事選 13%、参院選 7%、名護市長選 6%

→11・5H(主)「**米軍普天間基地**—撤去求める声政府は裏切るな」

→11・7A「**会談目前きしむ日米、オバマ大統領 12 日初来日**—普天間いらだつ米、先送り発言『無責任』—『対等』に首相こだわり」

⇒11・7 嘉手納町民大会に 2500 人一米軍基地嘉手納統合許さないとして
(11・8H)

→11・8T「爆音の街怒り」『統合案反対』嘉手納ルポー『防音しても耐えられぬ』『県内でも分かりあえない』『これ以上無理』－『反対で地代上がる』潤う地主も、『国が県民の対立をあおっている』／H「故郷に基地要らない」嘉手納県民大会、夕暮れ空にこぼし上げ」

小沢流政党支配と国会改革の危険性

10・28 「『事業仕分け人』人選難航」新人外し再編、小沢氏なお納得せず「予算削減へ反発も」／Y「行政刷新会議仕切りなおし」仕分けチーム再人選、日程に影響も」「民主、予算委でも質問せず」『見せ場』失い、落胆の議員も」
⇒10・28 小沢幹事長、当選 3 回以上の議員から選ぶべし」と指示(10・29 Y)

10・28 国会、代表質問始まる (10・28 各紙夕刊)

→10・29 Y「首相、巧みに追及かわす」谷垣氏『成長戦略が欠けている』、鳩山氏『自民に言われたくない』－説明不十分残る火種、偽装献金問題」「公明質問時」自民 50 議員続々と退席」

→10・29 A(社)「谷垣自民党」新たな自画像を早く描け」／M(社)「国会論戦」民主党の質問も必要だ」／T(社)「代表」『国のかたち』競い合え」

⇒10・29 小沢幹事長、仙谷由人行政刷新相が合意」事業仕分け人の国会議員を 7 人 (当初 32 人) にすること→民間から 24 人を予定

→10・30 A「事業仕分け議員 7 人に減、人選固まる」民間から 24 人を計画、仙谷氏」『議員だけで何も出来ぬ』小沢氏」

10・29 民主小沢幹事長、「陳情の党管理」に」一党所属議員らが受けた陳情を精査し、政府に伝える仕組みの概要について党幹部と合意」「族議員」による政官癒着の弊害を招かないため、とする (10・30 A) ⇒11・2 民主役員会、「陳情の一括管理」を決定(11・3 A)

⇒10・29 小沢グループ「一新会」初会合一衆参 60 人超／参加資格一当選 2
～4 回対象、会長鈴木克昌氏（愛知 14 区）、事務局長岡島一正氏（千葉 3 区）
（10・30A）

→10・30 T 「32 人から 7 人に減員、刷新会議の事業仕分け議員一小沢氏に
仙谷氏陳謝一作業、財務省頼みに？」

10・30 Y 「民主イズム一僕ら、ただの執行部隊か一省庁内定者仕事に疑問」「『官
を統制重いルール一閣僚への提案も遠慮』『キャリアになる意味は』一官
僚排除の風潮に危機感」

→10・31 A 「小沢ルールに右往左往一国会改革・政策一元化・人事一忠実な
興石氏、真意読み存在感一軽視の仙谷氏、人選をやり直し」

→10・31M(社)「『仕分け人』混乱一政権の看板事業が泣く」

11・1 A 「試練のマニフェスト一必ず達成？柔軟に？民主迷走一選挙重視で『理
屈は後』一連立相手と協議不十分、天下り禁止一時間かけ民意吸い上げ政
権獲得後に見直しも、『本家』の英国では」

→11・1M 「社説ウオッチング、鳩山首相所信表明一政策評価で賛否鮮明一
毎回、『表現力』に注文／読売・日経・産経、外交・安保で厳しく」

→11・2 A 「『小沢色』染まる民主一集団指導からトップダウン型に、政府
離れ党内権力集中一議論より国会運営・・・不満、政府外議員『我々は挙手要
員』」

→11・2 A(社)「国会改革を考える一政権交代を生かし大胆に」

→11・2 T （共同通信社世論調査）、10・31～11・1 全国電話調査

①鳩山内閣一支持 61.8%、不支持 22.9%、DK15.3%

②政党支持一民主 43.4%、自民 21.1%、公明 3.4%、共産 2.7%、社民 1.9%
・・・支持政党なし 24.5%

③日本郵政社長に斉藤次郎氏が就任したこと一評価する 27.0%、評価しな
い 49.4%、DK23.6%

④来年予算について赤字国債を増発一増発しても良い 19.0%、増発しない
方が良い 75.1%

- ⑤鳩山首相の政治資金収支虚偽記載についての説明一納得できる 22.2%、
納得できない68.0%
- ⑥鳩山首相と小沢幹事長の関係一現状でよい 20.1%、首相がもっと指導力
発揮を 74.4%
- ⑦鳩山内閣の連立はうまく言っていると思う 19.6%、うまくいっている
とは思わない69.8%
- ⑧来夏参院選と政権の枠組一民主単独 38.8%、今の3党連立 24.5%、他党
との連立 22.0%、DK13.0%

⇒11・2 民主役員会「陳情一括管理」決定(11・3A)

→11・3A「陳情一変、党強化狙う一官僚排除、民主幹事長室に限定一地元
歩かせ『議員力』強化一業界団体に接近・スタッフ足りない…、地方の受
け皿整備急ぐ」／Y「陳情も小沢支配？一族議員消えて…窓口は幹事長
室一『オープン』強調／党内には不満」

→11・4Y「小沢氏の目隅々まで一議連への関与強化」

⇒11・4「通念国会を提言」－「新しい日本を作る国民会議」(21世紀臨調)
小委員会(座長・佐々木毅元東大総長)、緊急提言発表一「国会審議活性
化等に関する緊急提言」(民主小沢一郎幹事長からの提言依頼を受けて、小
委員会メンバー15人連名)

<国会改革提言>

- ①国会法の「会期不継続の原則」を撤廃し、「通念国会」を導入(小沢幹事
長の意見)
- ②常任委員会を法案審査会(議員だけで討論)と国政調査・行政監視委員会
(政府参考人の出席も認める)に分離
- ③党首討論を週1回定例化。各閣僚と野党幹部がテーマ内閣ごとに議論す
る「大臣討論日」も新設(小沢意見)
- ④法案提出要件の緩和や野党への立法事務費割り増しなどにより議員立法
を活性化
- ⑤政策決定の一元化のため、内閣に対し政府提出法案の審議日程協議に関

与する権利を保証

⑥民主党議員が政府提出法案に自然に賛成できるよう、「各省政策会議」で有効な意見集約をする

⑦閣僚の委員会審議への出席義務を緩和し、副大臣政務官の代理答弁を原則容認

⇒11・4 小沢幹事長（記者団）、「国民の代表たる政治家同士が、自分自身の見識に基づいて議論をしていく国会にしたい。党内、各党の議論が煮つまり次第、可能なものから今国会で成案を得たい(11・5A) →11・7M(社)「国会改革一熟議して修正する場に」／Y「民主イズムー小沢流国会改革への疑念」「我々は裁決要員なのか」

⇒11・4 民主・渡部恒三氏（77）、小沢流政治運営批判（福岡市で講演）－「与党になったと張り切ったのはいいが、忙しいのは大臣、副大臣、政務官。それ以外はみんな暇で」「小沢一郎君が右といえ右、左といえ左。5足す5は15といえ『はい』といっていればいい」「陳情は（党）幹事長室1本。議員は家に帰って毎日戸別訪問しているのかな。私は体力がないし、困ったな」（11・5A）

→11・5Y「小沢流国会改革に着手、21世紀臨調提言一野党反発も、実現には曲折

⇒11・4「憲法解釈が政治主導」－平野博文官房長官（記者会見）、憲法解釈について「法制局長官の考え方を金科玉条にするのはおかしい」「（これまでの憲法解釈には内閣は縛られないのか）もちろんそういうことだ」「政治主導だから、政治判断で解釈していく」「（集団的自衛権行使違憲の憲法解釈は）現時点では過去に解釈されたことを踏襲する」／鳩山首相（記者に）「（憲法解釈を）変えるためには極めて慎重じゃなきゃいけない。変えるためには当然、国民的な世論というものもしっかり見定める必要もあると思う」（11・5A）

→11・5A「法制局解釈『議論の到達点』－『政治的な見直し、悪くない』、官房長官発言に波紋」

- 11・6Y(社)「国会改革一脱・法制局長官を支持する」
- ⇒11・5 **官房機密費めぐり隠蔽発言**—平野官房長官、官房機密費の存在を認め(9・17 就任当初「承知していない」と発言)、(透明化の考えについて)「少なくとも相手があることだし、オープンにしていくことは考えていない」、「(政権移行期の残高は) 発表は差し控えたい」／**鳩山首相**(記者団)「官房機密費があるのかもどうかも存じていない状況で、官房長官から『自分に任せてもらいたい』と云われているので、一切この問題には触らないようにしていきたい」(11・6A)
- 11・6A **「機密費発言信頼に傷**—官房長官も首相も『知らぬ』『存ぜぬ』—一転、存在認める—首相、以前は公開訴え「機密費、餞別に出費も」
- 11・7A(社)「**官房機密費—この豹変は見過ごせぬ**」
- 11・7A **「外国人参政権・肝災対策」**—小沢氏公認で議員立法

失業率 5.3%と「二番底」景気と

- 10・29 **連合、ベア要求見送りの春闘方針**—労働条件改善重視(10・30A)
 - ⇒10・29 **「労働者派遣法の抜本改正を目指す共同行動」**(日比谷野外、2500人参加)(10・30A、M、H)
 - 10・30M **「不安定な派遣もうやめろ—抜本改正求め 2500 人集会」**／H **「派遣法抜本改正一日も早く—幅広い労組・市民ら集会、東京」**—民主、共産、社民、国民新、公明各党代表挨拶
 - ⇒10・29 **日航、再建支援要請**—債務超過 2500 億円、公的機関「企業再生支援機構」(09・10・16 スタート、政府と民間金融機関約 130 行が出資)へ支援要請—「国管理下で再建」に(10・30M)
 - ⇒10・30 **全日空・営業赤字 282 億円**(9 月中間決算)、1000 人削減を計画(10・31A)
- 10・29 **米、プラス成長に転換**—7～9 月期 GDP 3.5%増(米商務省発表)
 - 「回復緩やか」予測大勢 10・30A)

10・30

失業率 5.3% (9月)、有効求人倍率 0.43% (総務省、厚労省発表) (10・30 A夕)

→10・31A 「寒々雇用の受け皿」 「製造業→介護、続く人不足—職業訓練拡充、低賃金また離職」 「建設業→農林業、増える耕作放棄地を活用—低い収益、赤字続き」

／N 「全日空もリストラ加速、上期 30 年ぶりの営業赤字に—グループ航空会社、3 社に集約へ—来期、1000 億円コスト圧縮」 ／H 「完全失業者数の増加—『解雇』『倒産』続く—製造業、求人ともに厳しく」

→11・4A 社 「15.7%の衝撃—貧困率が映す日本の危機」

⇒11・3 「日本の財政赤字悪化」 — IMF 主要 20 カ国の財政見通し発表／日本の財政—09年の財政赤字がGDP比で10.5%と予測—2014年時点の一般政府の債務残高はGDP比 245.6%—対象 20 カ国で最高(11・4N)

→11・5T 「『流民』 増え悪化—野宿者数本当に減少？ 駅地下鉄『ここで寝るしか…』、支援食料に 195 人『新記録だ』—夜だけ寝泊り統計外／財政は改善強調—心の病や若年増加も」

→11・6 景気動向指数 (内閣府発表) — 「回復局面入り」 確認し、上方修正 (11・7N)

→11・7N 「米雇用、改善に遅れ—景気底入れでも企業は採用慎重、失業率 10.2%—政府・議会、安全網の拡充急ぐ」

憲法問題の世論調査とプルサーマル初稼動と

→11・1M (憲法問題全国世論調査) — 9・11~13 全国面接調査—回答 2615 人 (57%)

①憲法改正論議への関心—かなり関心 14% (男 19%、女 9%)、ある程度関心 52%、余り関心ない 26%、全く関心ない 7%

②憲法を改めることに—賛成 58%、反対 32%

③憲法改正賛成の理由—時代に合っていない 54%、米国からの押しつけだ

から 10%、制定以来一度も改正されていない 22%、自衛隊の活動と憲法 9 条の隔たり 9%、個人の権利を尊重しすぎ 3% (三つまで回答)

④どのように改めるべきか—一番羽訳調を分かり易く 36%、自衛隊の位置づけを明確に 37%、集団的自衛権の行使可能に 13%、象徴天皇制を見直す 9%、国会の 2 院制を 1 院制にする 15%、首相の国民直接投票制 42%、地方分権を拡大 32%、国民に新たな権利を作る 22%、国民の新たな義務を盛り込む 14%、憲法改正要件の緩和 14%

⑤改憲反対の理由—時代に合っている 8%、改正する積極的理由がない 32%、9 条改正につながる恐れ 36%、個人の権利制限の恐れ 5%、議論がまだ尽くされたとはいえない 17%

⑥憲法 9 条の 1 項、2 項について—何らかの改正が必要 48%、一切改めるべきでない 43%

⑦「何らかの改正が必要」との回答者—1 項だけ改める 9%、第 2 項だけ改める 26%、1, 2 項とも改めるべきだ 17%、新条項を加える 44%

⑧日本の外交・安全保障のあり方—国連重視 76%、対米協調 17%

⑨アフガン・テロ対策でのインド洋給油始動—賛成 48%、反対 44%

⑩自衛隊の海外派遣で「恒久法」を作ること—賛成 36%、反対 56%

⑪自衛隊の海外活動のあり方—一切すべきでない 9%、停戦後の P K O まで認める 53%、紛争中の国での復興支援も認める 23%、場合によっては武力行使も認める 10%

⑫非核三原則の扱い—堅持すべきだ 72%、見直すべきだ 24%

→11・1M「憲法問題全国世論調査—『改憲論議に関心』66%—9 条改正、割れる賛否—国民投票法来年施行、機運は高まらず—自衛隊海外派遣『恒久法反対』過半数—米国に好意 76%、日本外交は『国連重視で』

→11・2H「核密約、米が再三圧力—63 年に続き 64 年も、解禁文書で判明」

⇒11・5 プルサーマル初稼動—九州電力玄海原子力発電所 3 号機 (佐賀県玄海町、出力 118 万 KW) の原子炉が起動—「トラブル続きで 10 年遅れ」(11・6Y)

→11・6H「プルサーマル開始強行、国内初一玄海原発、危険増大顧みず」

「玄海町は実験場じゃないープルサーマル始動、住民ら抗議」

11・8

A(社)「冷戦終結 20 年ー『21 世紀の壁』を越える」／M(社)「冷戦終結 20 年ー問われる日本の戦略, 新たな『壁』作らぬ努力を」